



▲夏は「高浜市民レガッタ」の会場にもなる高浜川（河口付近）。



高浜川工事の写真。  
背景に黒煙をあげる瓦  
工場の煙突が見える。

## 高浜川

暮らしのそばにある川から、私たちは水の恵みや運輸の便といった恩恵を受けている。また、川の存在は、その土地独特の文化を生み出すことにもつながる。西三河の地が瓦の産地となったのも、矢作川が運び貯めた土が瓦に適した性質であったことからだといわれる。

市の名前のついた「高浜川」は、まちの南部に位置し、河口付近は夏の「高浜市民レガッタ」の会場として賑わいの場ともなる。これが珍しい手掘りの川であることをご存知だろうか。年代は明らかでないが、工事のようすが写る古い写真には、作業する人の姿や、土を運びだすトロッコが見てとれる。

かつて、油ヶ淵は、注ぎ込むいくつかの川の影響で、排水が悪くなると浸水がおこり、周囲の田畑に被害を及ぼしていた。そこで、衣浦湾に排水するための水路として開削されたのが「高浜川」である。昭和6年から10年にかけて工事が行われ、河川延長2,340m、河川幅30mの人工河として誕生し、昭和31年に河川幅60mに改修された。川沿いにある工事の安全祈願のための「川地蔵」は今も地元の方たちの手で大切に守られている。

# “撮っておき” の たかはま

## 【第94回】

「ひと」「もの」「文化」などなど、  
有形・無形を問わず、  
高浜市の日常の暮らしの中にある  
とっておきの「お宝」を紹介します。



## 大山緑地の紅葉 みごろをむかえます!

### ライトアップ

11月25日(土)～12月4日(月)  
午後7時～9時※初日のみ午後5時から

問合せ先 高浜まちづくり協議会  
☎87-9112

## LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語は17ページ

早期配布にご協力ください。